

## 活性化への視点（チェックシート）

学校の実態に応じた学校運営協議会の取組において、段階的な活性化の例として1～5の視点を示しています。

法に基づくコミュニティ・スクールへの移行をきっかけとする、学校と地域との連携と協働の活性化へ向けた目標設定等の参考にしてください。

段階	学校運営協議会の推進体制	熟議のあり方	情報発信	一体的推進の例
1	委員が学校運営協議会の趣旨、役割等を理解し、学校運営全般について意見を述べている。	学校が学校教育目標等を説明し、それに対する委員の意見を得て、学校運営の参考にしている。	学校だより等を活用して、学校運営協議会の取組や地域との連携と協働等について家庭や地域に紹介している。	学校と地域との良好な関係により、様々な学校支援活動はあるが、学校支援ボランティア等の組織的な活動は今後の課題となっている。
2	委員と教職員とが学校運営協議会の趣旨、役割等を共通理解し、学校運営の基本方針にCSの取組を位置付けて推進している。	学校が学校教育目標等を説明し、ビジョンと課題を共有し、学校が提示する課題について委員の意見を得て、学校運営の参考にしている。	HP、オープンスクール等の多様な手段や機会を活用して、学校運営協議会の取組や地域との連携と協働等について啓発に努めている。	学校と地域との良好な関係により、従来からの学校支援活動とともに学校や学級のニーズに対応した学校支援ボランティア等が活動している。
3	委員と教職員とが学校運営協議会の趣旨、役割等を共通理解し、教職員がCS推進のための学校の役割を自覚し、学校全体で役割分担して取り組んでいる。	学校が学校教育目標等を説明し、委員の承認を通してビジョンと課題を共有し、学校が提示する具体的な課題について解決策を協議し、合議体として意見をとりまとめている。	学校運営協議会の取組や地域との連携と協働について、具体的な活動における教員の思い、児童生徒の気づきや成長を通じた啓発を工夫している。	学校と地域との良好な関係により、従来からの学校支援活動とともに、学校支援ボランティアをはじめ多様な学校支援活動が活発に取り組みされている。
4	委員と教職員とが学校運営協議会の趣旨、役割等とともに学校教育目標等のビジョンと課題を共通理解するとともに、委員と教職員や児童生徒との接点づくりを工夫している。	学校が学校教育目標等の承認を通して、委員とビジョンと課題とを共有し、学校が提示する具体的な課題について解決策を協議し、合議体として意見をとりまとめながら、活動につなぐ工夫をしている。	学校運営協議会独自の通信やHP等により、地域に情報を発信する手段や機会を工夫し、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりに努めている。	必要に応じた地域コーディネーターの調整により、学校教育目標等のビジョンと課題を共有して、学校支援ボランティアをはじめ多様な学校支援活動等の学校運営に必要な支援が取り組まれている。
5	委員と教職員とが学校運営協議会の趣旨、役割等を共通理解し、学校は小中一貫教育の推進と連動させながら、地域の強みを活かす仕組みと評価と改善システムを工夫し、持続可能な連携と協働体制づくりに努めている。	学校が学校教育目標等の承認を通して、委員とビジョンと課題とを共有し、学校が提示する具体的な課題について解決策を協議し、合議体として意見をとりまとめながら、多様な学校支援活動とつないだ一体的推進をめざしている。	学校運営協議会独自の通信やHP等により、地域に情報を発信する手段や機会を工夫するとともに、CSの活動に関わるアンケート等を活用した双方向のやり取りを通じた啓発により、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりに積極的に努めている。	学校支援ボランティアをはじめ多様な学校支援活動がゆるやかにつながり、必要に応じた地域コーディネーター等の調整により、学校教育目標等のビジョンと課題とを共有しながら、学校運営に必要な支援が取り組まれている。